



TITLE:

表紙・投稿規定・ニュース・掲示板・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・ニュース・掲示板・編集後記・目次・裏表紙ほか.  
物性研究 1964, 3(1): 73-76

ISSUE DATE:

1964-10-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/85610>

RIGHT:

昭和39年10月20日発行(毎月1回20日発行)  
物性研究 第3巻 第1号

vol. 3 no. 1

# 物性研究

1964 | 10

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

#### 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
  2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
  3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスのプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
  4. 図の縮尺はいたしません。図は不必要に大きくせず、それぞれ適当な大きさに画いて下さい。
- 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申し込んで下さい。別刷代は下記の方式により現金で前納していただきます。

P : 400 字詰原稿用紙による頁数

X : 別刷所要部数

別刷代=0.6XP円

#### 購読規定

1. 本誌は「物性研究購読会」の会員にのみ配布します。
2. 「購読会」の会員には個人会員、機関会員の別があります。会費を個人が支払うばあいを個人会員とし、機関が支払うばあいを機関会員とします。
3. 個人会員には入会の際、入会金 100円を納めていただきます。退会の際には入会金はお返ししません。機関会員は入会金を要しません。
4. 会費は月額、個人会員 160円、機関会員 300円とします。
5. 会費は前月中に前納していただきます。会費が前納されなかったときは雑誌の発送を停止し、会費を2ヶ月以上滞納した会員は退会したものとみなします。



1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

#### 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
  2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
  3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスのプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
  4. 図の縮尺はいたしません。図は不必要に大きくせず、それぞれ適当な大きさに画いて下さい。
- 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申し込んで下さい。別刷代は下記の方式により現金で前納していただきます。

P : 400 字詰原稿用紙による頁数

X : 別刷所要部数

別刷代=0.6XP円

#### 購読規定

1. 本誌は「物性研究購読会」の会員にのみ配布します。
2. 「購読会」の会員には個人会員、機関会員の別があります。会費を個人が支払うばあいを個人会員とし、機関が支払うばあいを機関会員とします。
3. 個人会員には入会の際、入会金 100円を納めていただきます。退会の際には入会金はお返ししません。機関会員は入会金を要しません。
4. 会費は月額、個人会員 160円、機関会員 300円とします。
5. 会費は前月中に前納していただきます。会費が前納されなかったときは雑誌の発送を停止し、会費を2ヶ月以上滞納した会員は退会したものとみなします。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

#### 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
  2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
  3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスのプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
  4. 図の縮尺はいたしません。図は不必要に大きくせず、それぞれ適当な大きさに画いて下さい。
- 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申し込んで下さい。別刷代は下記の方式により現金で前納していただきます。

P : 400 字詰原稿用紙による頁数

X : 別刷所要部数

別刷代=0.6XP円

#### 購読規定

1. 本誌は「物性研究購読会」の会員にのみ配布します。
2. 「購読会」の会員には個人会員、機関会員の別があります。会費を個人が支払うばあいを個人会員とし、機関が支払うばあいを機関会員とします。
3. 個人会員には入会の際、入会金 100円を納めていただきます。退会の際には入会金はお返ししません。機関会員は入会金を要しません。
4. 会費は月額、個人会員 160円、機関会員 300円とします。
5. 会費は前月中に前納していただきます。会費が前納されなかったときは雑誌の発送を停止し、会費を2ヶ月以上滞納した会員は退会したものとみなします。

短期研究会一覧

39.9.11

共同利用施設専門委員会 採決

研究会名	期 日	提 案 者	旅 費
1 イオン性結晶の バンド構造と輸 送現象	40.1.25 1.28 (4日間)	東大教授 植村 泰 忠 物性研 豊 沢 豊 小 杯 浩 一	340,000
2 原子分子の波動 函数の改良	40.2.2 2.3 (2日間)	東大教授 森 野 米 三 電気通信大学助教授 土 方 克 法 お茶の水大教授 石 黒 英 一 千葉大助教授 青 野 茂 行 物性研 長 倉 三 郎 菅 野 曉	236,000
磁気緩和機構の 研究	40.2.11 2.13 (3日間)	東大助教授 飯 田 修 一 広島大教授(理) 辰 本 英 二	240,000
計			816,000

- 39.9.15 東京・京都での国際光学会の帰りに下記の三名が九大  
物理教室を訪れ研究者と議論し研究室をみまわれた。

L. Genzel (Germany)

Ely Bell (U.S.A.)

R. Buchanan (U.S.A.)

## 掲 示 板

### 物性研共同利用施設専門委員会 委 員 選 挙 開 票 結 果

#### 物性小委員会

上記七名の推薦を物性研所長から依頼されましたので、昨る6月に物性100人委員による選挙を行いました。

開票結果は次の通りです。

○	久	保	亮	五	19	票
○	飯	田	修	一	19	票
○	辰	本	英	二	12	票
○	徳	永	正	晴	9	票
○	松	原	武	生	9	票
○	上	田	良	二	8	票
○	渋谷	喜	夫		7	票
次	佐々木	泰	三		7	票
次	吉森	昭	夫		7	票

同票の3氏の順位は抽選で決定しました。

以上の結果にもとづいて○を附した7氏を委員として物性研所長に6月18日付で推薦しました。

注 なお現在上記委員で引続き昭和40年3月末まで任期のあるものは下記の通りです。

宮	原	将	平	広	根	徳	太	郎	中	山	正	敏
伊	藤	順	吉	永	宮	建	夫		平	川	金	四
岡	田	利	弘									郎

物性研協議会委員選挙開票結果

物性小委員会

上記委員5名の推薦を物性研所長から依頼されましたので、昨る9月に物性100人委員による選挙を行いました。

9月3日開票 投票者総数51名(5名連記)

結果は次の通りです。

○	宮	原	将	平	31	票
○	永	宮	建	夫	30	票
○	伊	藤	順	吉	11	票
○	松	原	武	生	10	票
○	有	山	兼	孝	9	票
次	岡	田	利	弘	9	票
次	森	田		章	8	票
次	広	根	徳	太郎	8	票

以上の結果にもとずいて○を附した5氏を委員として物性研所長に推薦しました。



## 編集後記

いよいよ秋も深まり灯火親しむ候となりました。本号は丁度秋の物理学会が終つた所でお手元に届くことと思います。学会で報告された研究のより詳細な速報を是非お寄せ下さい。

来月号より新企画「公開質問状」の欄を設ける予定です。  
常々疑問に思っていること、こういうことが判つたら面白いといった問題を提出していただき誌上討論の型にもつていきたいと思つています。

「分子生理学」は講師の都合により休載します。

### 物 性 研 究 第 3 卷 第 1 号

1964年10月20日発行 (定価300円)

発行人 碓 井 恒 丸

印刷者 倉 本 作 雄  
京都市左京区岡崎徳成町11

発行所 物性研究刊行会  
電話(77)8111 内線983  
振替 京 都 5312  
京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

## 編集後記

いよいよ秋も深まり灯火親しむ候となりました。本号は丁度秋の物理学会が終つた所でお手元に届くことと思います。学会で報告された研究のより詳細な速報を是非お寄せ下さい。

来月号より新企画「公開質問状」の欄を設ける予定です。  
常々疑問に思っていること、こういうことが判つたら面白いといった問題を提出していただき誌上討論の型にもつていきたいと思つています。

「分子生理学」は講師の都合により休載します。

### 物 性 研 究 第 3 卷 第 1 号

1964年10月20日発行 (定価300円)

発行人 碓 井 恒 丸

印刷者 倉 本 作 雄  
京都市左京区岡崎徳成町11

発行所 物性研究刊行会  
電話(77)8111 内線983  
振替 京 都 5312  
京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

## 目 次

### Solar Planetary Relationships

—— Venus, Mars and Jupiter ——	清水 幹 夫 1
-------------------------------	----------

### 研 究 会 報 告

振動子系の力学過程と統計(第二回)	28
-------------------	----

強誘電体若手グループ夏期研究会	43
-----------------	----

### 資 料

物性研究所に関するアンケート	44
----------------	----

海外だより(長岡 California より横田へ)	71
----------------------------	----

ニ ュ ー ス	72
---------	----

掲 示 板	74
-------	----

編 集 後 記	76
---------	----

●



## 目 次

### Solar Planetary Relationships

—— Venus, Mars and Jupiter ——	清水 幹 夫 1
-------------------------------	----------

### 研究会報告

振動子系の力学過程と統計(第二回)	28
-------------------	----

強誘電体若手グループ夏期研究会	43
-----------------	----

### 資 料

物性研究所に関するアンケート	44
----------------	----

海外だより(長岡 California より横田へ)	71
----------------------------	----

ニ ュ ー ス	72
---------	----

掲 示 板	74
-------	----

編 集 後 記	76
---------	----

●